

コンセプチュアルマネジメント講座
Ver.o.8

PMstyle.jp

コンセプチュアルマネジメント講座 コンセプト

- ・ 背景
 - マネジメントがうまく行かない原因にマネジャーのコンセプチュアルスキルの低さがある
 - 組織や人材の生産性、創造性、多様性を高めるためにはコンセプチュアルなアプローチが不可欠である(図1)
- ・ 目的
 - コンセプチュアルなアプローチによってマネジメントを革新する
- ・ ターゲット
 - 管理者層、監督者層(図2)
- ・ アプローチ
 - PMstyleのコンセプチュアル思考を基本にしたコンセプチュアルスキルを活用したマネジメントを行うことより、創造的&生産的&多様な時代にあったマネジメントを行うためのスキルを身につける。(図3)
- ・ 主要テーマ(図4)
 - 創造性を高めるマネジメント
 - 生産性を高めるマネジメント
 - 多様性を高めるマネジメント
 - プロジェクトの実施

図1：組織のマネジメント課題の根源にあるスキル

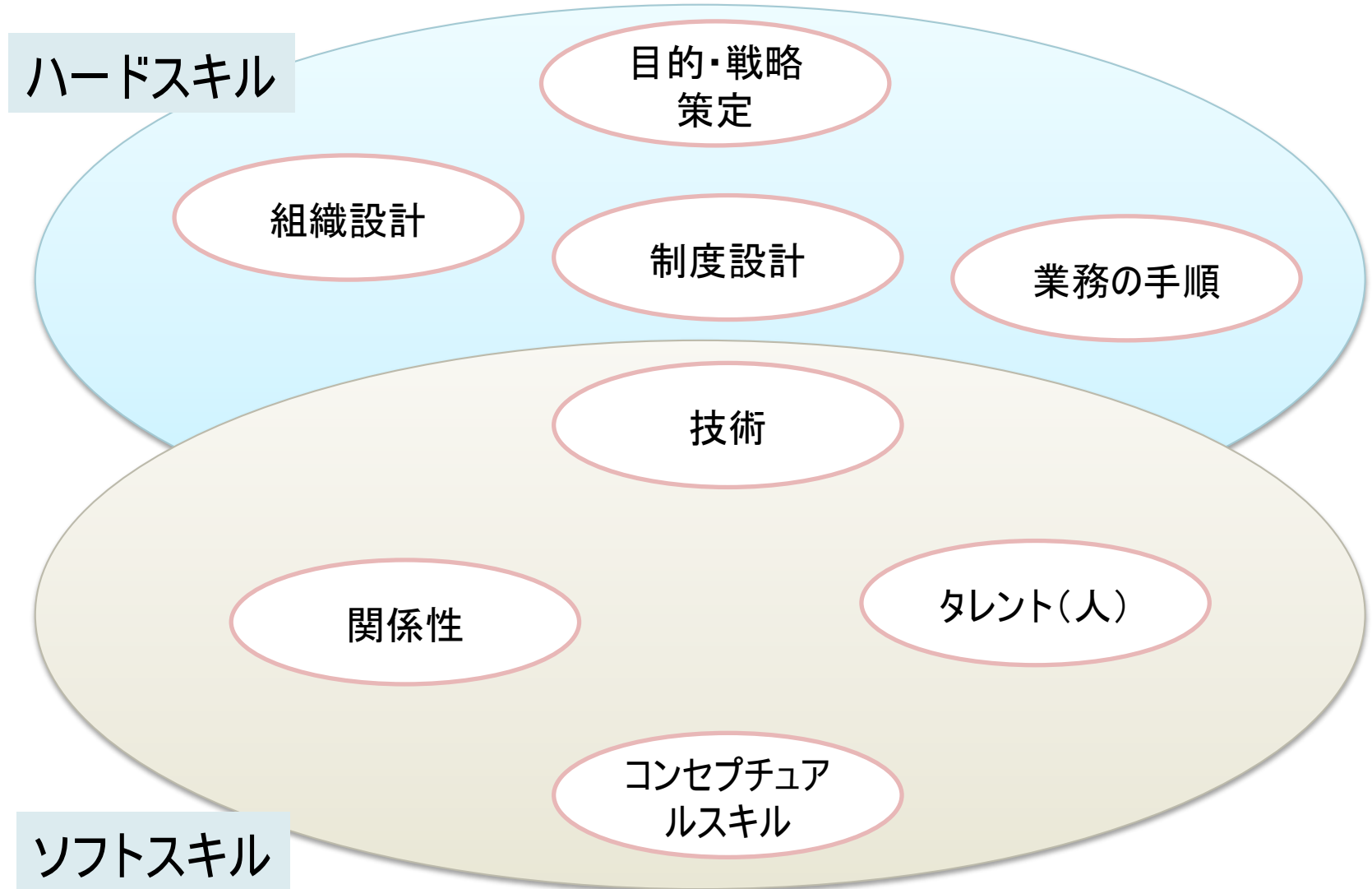


図2: マネジメント階層とターゲット

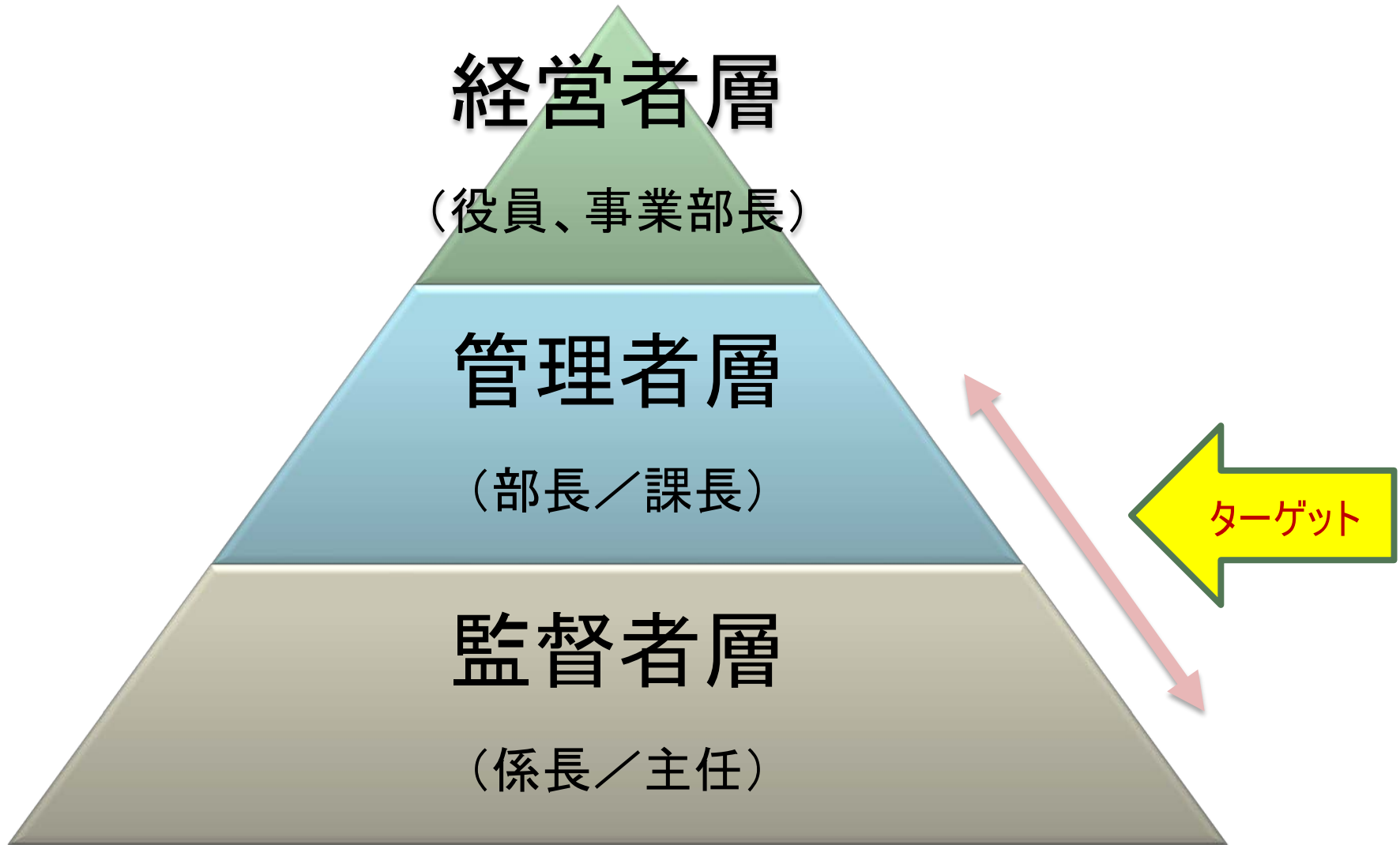


図3: コンセプチュアルマネジメントのイメージ

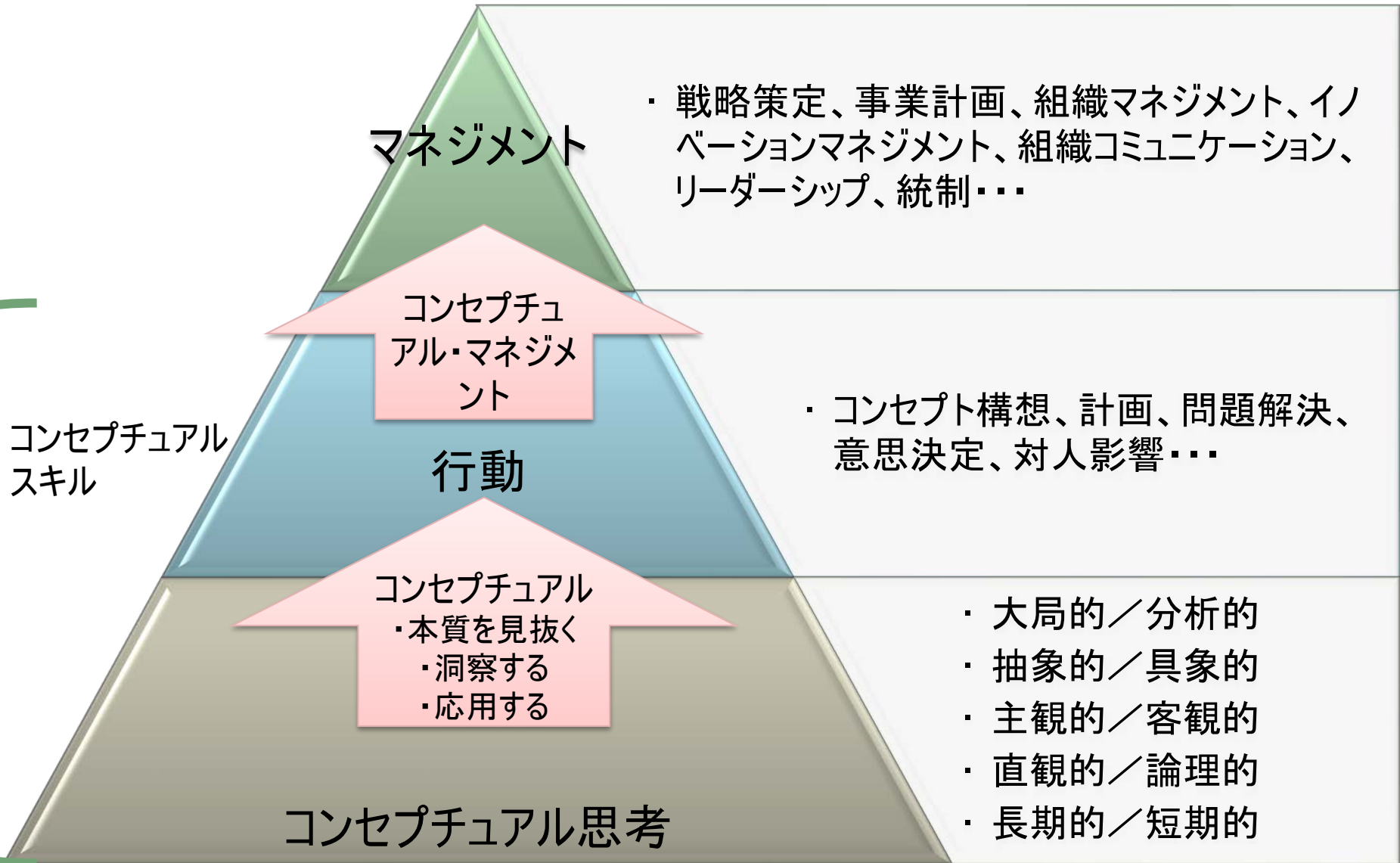


図4: コンセプチュアルマネジメント講座の構成

コンセプチュアルな組織を創るマネジメント

イノベーションを
起こす

ダイバーシティを
高める

生産性を向上
させる

プロジェクトを動
かす

コンセプチュアル思考

コンセプチュアルな組織を創るマネジメント（概論）

狙いと特徴

狙い

コンセプチュアルマネジメントのコツを掴む

- ・ マネジメントの主要活動のコンセプチュアル思考の有効性を実感する
- ・ コンセプチュアル思考によりマネジメントを変革する基本的な原理を把握する
- ・ マネジメント活動の本質を洞察し、実情にあった方法で具体化する発想を身につける

特徴

コンセプチュアル思考を使って考える

- ・ ミドルマネジャーが自身のマネジメント業務の質を向上させる方法を提供する
- ・ コンセプチュアル思考を前提として、効果がある視点からのマネジメント変革を考える

効果

マネジメントレベルの向上

- ・ マネジメント業務の質がよくなり、マネジメントの有効性が高まる。
- ・ 働き方を変えていくための起点となるマネジメントをイメージできるようになる。

公開講座

2018年 07月 24日（火）

- ・ 詳細・お申込：http://pmstyle.biz/smn/conceptual_management.htm

コンセプチュアルな組織を創るマネジメント プログラム

- ・ 1. コンセプチュアルではない組織の問題点
 - ・ 個人レベルの問題点
 - ・ チームレベルの問題点
 - ・ 組織レベルの問題点
- ・ 2. コンセプチュアルなマネジメントのポイント
 - ・ 2. 1 質問型の組織を創る
 - ・ 2. 2 コンセプチュアルな組織活動のプランニング
 - ・ 2. 3 ステークホルダーへのコンセプチュアルな対応
 - ・ 2. 4 コンセプチュアルな人材育成
 - ・ 2. 5 コンセプチュアルな組織文化の構築
- ・ 3. コンセプチュアルなマネジメントの効果
 - ・ 3. 1 顧客を理解する
 - ・ 3. 2 生産性を上げるマネジメント
 - ・ 3. 3 組織のダイバーシティを高める
 - ・ 3. 4 イノベーションを起こす
 - ・ 3. 5 プロジェクトを成功させる
- ・ 4. コンセプチュアルマネジメントでコンセプチュアルな組織を創る仕組みワークショップ

コンセプチュアル思考でマネジメントを変える～ オプションプログラム(研修のみ対応)

- ・ 1. コンセプチュアルではないマネジメントの問題点
 - 収益が上がらない／生産性が上がらない／変革ができない／プロジェクトがうまく行かない
- ・ 2. コンセプチュアルなマネジメントのポイント
 - 2. 1 コンセプチュアルな意思決定
 - ・ コンセプチュアルなプランの策定
 - 目的を明確にする／目標を設定する
 - ・ コンセプチュアルな意思決定
 - ・ コンセプチュアル思考によるプランと実行の一体化
 - 2. 2 コンセプチュアルなマーケティング
 - ・ 顧客のニーズを解明し、顧客価値を生み出す
 - ・ 顧客が真に求める商品やサービスを作り、その情報を届け、顧客がその価値を効果的に得られるようにする
 - 2. 3 コンセプチュアルな人材を育てる
 - ・ コンセプチュアルな人材を育成し、活用する(管理と育成)
 - ・ コンセプチュアルな組織を創る
 - ・ 評価
 - 2. 4 ダイバーシティのマネジメント
 - ・ コンセプチュアルなチームを創る
 - ・ ダイバーシティの高い組織を創る
 - ・ コンセプチュアルな視点で問題に対応する
 - 2. 5 ステークホルダーをマネジメントする
 - ・ 上司、経営者
 - ・ メンバー
 - ・ 関連部門
 - 2. 6 変革プロジェクトをコンセプチュアルにマネジメントする
 - ・ オペレーションマネジメントの本質
 - ・ プロジェクトマネジメントをコンセプチュアルに
- ・ 3. コンセプチュアル思考のマネジメント適用の原則

コンセプチュアル思考で起こすイノベーション 狙いと特徴

狙い

イノベーションを起こす思考を身につける

- ・ イノベーションにおける本質(価値)の役割を理解する
- ・ コンセプチュアル思考を使ったイノベーションの進め方を理解する
- ・ コンセプチュアル思考を使ったイノベーションのプロセスを体験する

特徴

コンセプチュアル思考を使って考える

- ・ コンセプチュアル思考で本質を見極め、イノベーションに結び付けていく
- ・ コンセプチュアルなイノベーション活動のイメージを創る

効果

マネジメントレベルの向上

- ・ イノベーションの創出のイメージが明確になる。
- ・ 商品イノベーションに限らず、業務の進め方のイノベーションもイメージできるようになる

公開講座

研修でのみ実施

- ・ 詳細・お申込

「コンセプチュアル思考でイノベーションを起こす」プログラム

- ・ 1. 変革(イノベーション)におけるコンセプチュアル思考の役割
 - コンセプチュアル思考でイノベーションのニーズを見極める
 - コンセプト創造とコンセプト実現
 - ジョブ理論とコンセプチュアル思考
- ・ 2. イノベーションにおけるコンセプチュアル思考の活用例
 - 直観と論理の軸の活用例
 - 大局と分析軸の活用例
 - 抽象と具象軸の活用例
- ・ 3. コンセプチュアル思考によるイノベーションプロセス
 - 3. 1 要求／アイデア／ジョブ／を概念化し、価値(本質)の概念モデル(コンセプト)を作る
 - 3. 2 概念モデルのさまざまな実現方法を考える
 - 3. 3. 実現方法を評価する
- ・ 4. イノベーションプロジェクトのプロジェクトの進め方
 - イノベーションのニーズを見極める
 - イノベーション機会を作る
 - イノベーションを実行する
- ・ 5. コンセプチュアルイノベーションワークショップ

コンセプチュアル思考でダイバーシティを高める 狙いと特徴

狙い

ダイバーシティーマネジメントを習得する

- ・ダイバーシティーにおける本質(価値)の役割を理解する
- ・コンセプチュアル思考を使ったイノベーションの進め方を理解する
- ・ダイバーシティーマネジメントを統合マネジメントとしてポイントを掴む

特徴

コンセプチュアル思考を使って考える

- ・コンセプチュアル思考で本質を見極め、ダイバーシティーに結び付けていく
- ・コンセプチュアル思考により、ダイバーシティーの高める現実的な仕組みを作ってみる

効果

マネジメントレベルの向上

- ・ダイバーシティーマネジメントのイメージが明確になり、実践できるようになる。
- ・ダイバーシティーマネジメントをコンセプチュアルマネジメントに生かす方法に気づく

公開講座

研修でのみ提供

- ・ 詳細・お申込

コンセプチュアル思考でダイバーシティを高める プログラム

- ・ 1. ダイバーシティーマネジメントにおけるコンセプチュアル思考の役割
 - ダイバーシティーの実現ステップ
 - コンセプチュアル思考で相手の考えの本質を読み取る
 - コンセプチュアルスキルで統合マネジメントを行う
- ・ 2. ダイバーシティーマネジメントにおけるコンセプチュアル思考の活用例
 - ステークホルダーコミュニケーション
 - ビジョン共有
 - プロジェクトコミュニケーション
- ・ 3. コンセプチュアル思考によるダイバーシティーマネジメントプロセス
 - 3. 1 本質を見抜く
 - 3. 2 本質を共有する
 - 3. 3 本質と現実を行き来する
 - 3. 4 価値観を共有する
- ・ 4. ダイバーシティーマネジメントのポイント
 - 「価値観」で統合を図るコミュニケーションと意思決定の仕組みづくり
 - 混乱や衝突に対応できる仕組みづくり
- ・ 5. ダイバーシティーマネジメントワークショップ
- ・ 自社の課題を読み解く
- ・ コンセプチュアル思考で対応策を考える
- ・ 対応策を実現する仕組みを考える

コンセプチュアル思考で生産性を向上させる 狙いと特徴

狙い

生産性を高めるポイントをコツを身につける

- ・ 生産性と効率性の違いを理解する
- ・ コンセプチュアル思考を使った生産性向上の進め方を理解する
- ・ コンセプチュアル思考を使った生産性向上のプロセスを体験する

特徴

コンセプチュアル思考を使って考える

- ・ コンセプチュアル思考で問題の本質を見極め、生産性を向上する方法を探す
- ・ イノベーションによる生産性向上のイメージを把握する

効果

マネジメントレベルの向上

- ・ 効果的な生産性の向上の方法が理解できる。
- ・ 生産性の問題を様々な視点から見て、戦略的なアプローチを選ぶことができる

公開講座

2018年 08月 30日(木)

- ・ 詳細・お申込 http://pmstyle.biz/smn/conceptual_productivity.htm

コンセプチュアル思考で生産性を向上させる プログラム

- ・ 1. 生産性とは
 - ・ 効率化と生産性の違い
 - ・ 効率性追求の限界
 - ・ 生産性向上の要因
- 2. 生産性が低い理由
 - ・ プロセスの問題
 - ・ 付加価値の問題
 - ・ メンバーのモチベーションとスキルの問題
 - ・ プロジェクトマネジメントの問題
- 3. 生産性を向上させる方法
 - ・ スキルアップ(個人)
 - ・ イノベーション(チーム)
 - ・ 新規事業への参入(組織)
- ・ 4. コンセプチュアル思考で生産性を向上させるマネジメント
 - ・ コンセプトはより少ない人数でより大きな価値を生み出す
 - ・ 生産性の目標設定と進捗管理
 - ・ 生産性の徹底的な追求
 - ・ コアプロセスの改善(効率化)と革新(生産性向上)
 - ・ プロダクトイノベーションの追求
 - ・ コミュニケーションマネジメント
 - ・ 振返りとナレッジマネジメント
 - ・ コンセプチュアルな人材の育成(コンセプチュアルな組織づくり)
- 5. コンセプチュアルマネジメントワークショップ
 - ・ 「生産性向上プロジェクト(仮称)」のプロジェクトプランの作成な問題の見極め

コンセプチュアル思考でプロジェクトを動かす 狙いと特徴

狙い

プロジェクトマネジメントの質を向上する

- ・コンセプトから本質的な要求を見極め、実現する方法を学ぶ
- ・プロジェクトの目的を実現する計画を策定し、実施する方法を学ぶ
- ・コンセプトへ成果を統合するマネジメントについて学ぶ

特徴

プロジェクトの目的を重視した手法

- ・プロジェクトのコンセプトから、プロジェクトや目的の本質を抽出し、PMBOK(R)のプロジェクトマネジメントを適用したプロジェクトマネジメントを実施する流れを基本とする
- ・プロジェクトマネジメントのみを学ぶ1日版、コンセプチュアルスキルを併せて学ぶ2日版あり

効果

成果を最大化するマネジメントを身につける

- ・プロジェクトで得られる成果が大きくなる
- ・コンセプチュアルプロジェクトマネジメントのポイントを理解し、一般的なプロジェクトマネジメントと組み合わせて活用できるようになる
- ・プロジェクトマネジメントが創造的、かつ、高品質になる

公開講座

09月27日(木)～09月28日(金)

- ・ 詳細・お申込 : http://pmstyle.biz/smn/conceptual_pm.htm

コンセプチュアル思考でプロジェクトを動かす プログラム

- ・ 1. 概念的に考えて、具体的な行動をする
- 2. 本質を見極めるスキル
- 3. 洞察力を高める
- 4. 顧客の要求の本質を見極める
- 5. コンセプトを創る
- ・ 6. コンセプトを実現する目的と目標の決定
- 7. 要求の本質を見抜いたスコープ定義
- 8. 本質的な目標を優先する計画
- 9. プロジェクトマネジメント計画を活用した柔軟なプロジェクト運営
- 10. 本質的な問題解決
- 11. 経験を活かしてプロジェクトを成功させる

「コンセプチュアルスキルの基本」講座 狙いと特徴

狙い

コンセプチュアルなスキルを身につける

- ・ 構想、計画、問題解決、意思決定などのコンセプチュアルスキルに必須であるコンセプチュアルな思考を身につける
- ・ 洞察力、応用力などを基盤にしたコンセプチュアルスキルを強化する

特徴

コンセプチュアルな思考の5つの軸で考える

- ・ コンセプチュアルスキル入門とコンセプチュアル思考を統合した講座で、加えてコンセプチュアルスキルの応用方法が分かる。

効果

コンセプチュアルスキルの強化

- ・ コンセプチュアルスキルに対する明確なイメージができる
- ・ コンセプチュアルスキルが強化され、また、継続的向上させる方法が分かる

日程

東京：2018年 06月 13日（水）～14日（木）、大阪：2018年 06月
18日（月）～19日（火）

- ・ 詳細・お申込：http://pmstyle.biz/smn/conceptual_practice.htm

コンセプチュアル思考でプロジェクトを動かす～プログラム

- ・ 1. 本質を洞察し、応用する
- ・ 2. 本質を見極めるスキル
- ・ 3. コンセプチュアルに考える5つの思考
- ・ 4. 洞察力を高める
- ・ 5. 応用力を高める
- ・ 6. 思考をコンセプチュアルにするツール
- ・ 7. コンセプチュアルが行動を変える

コンセプチュアルなチーム

- ・ メンバーのそれぞれが主体的に自分のできる範囲の貢献をする
 - コンセプチュアルスキルが不可欠
 - プロジェクトチームの諸機能がいかに相互に依存しあっているか、また、その内のどれか1つが変化したとき、どのようにチーム全体に影響が及ぶかを認識すること
 - プロジェクトチームが、他のプロジェクト、組織、さらには業界の政治的、社会的、経済的な力とどのように関係しているかを明確に描けること

リフレーミングのコツ

- ・ 1. 正統性を示す
- 2. 第三者を話し合いに同席させる
- 3. 問題の定義を書き出させる
- 4. 何が抜け落ちているかを尋ねる
- 5. 複数のカテゴリーを検討する
- 6. よい意味での例外を分析する
- 7. 目的を問い直す

講座プログラム

- ・ コンセプチュアルスキルを高めるには
 - 個人のコンセプチュアルスキル
 - チームのコンセプチュアルスキル
- ・ コーチング(メンタリング)
- ・ 組織開発～質問型組織を作る

ダイバーシティのステップ

- ・ ステップ1:
 - 抵抗 (Resistance) ～ 違いを拒否する
- ・ ステップ2:
 - 同化 (雇用機会均等 / Equal Opportunities) ～ 違いを同化させる、違いを無視する、防衛的
- ・ ステップ3:
 - 分離 (Value Difference / 違いに価値を置く) ～ 違いを認める、適応的
- ・ ステップ4:
 - 統合 (Diversity Management / ダイバーシティ・マネジメント) ～ 違いを活かす、競争優位につなげる、戦略的

コンセプチュアル思考によるプロジェクトマネジメント

コンセプチュアルなリーダーシップ

- ・ プログラム

- 1. コンセプチュアルなリーダーシップとは何か
- 2. コンセプチュアル思考でダイバーシティを高める
- 3. コンセプチュアル思考でチームを創る